

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こばんはうすさくら札幌太平教室			
○保護者評価実施期間	2025年 12月 14日 ~ 2025年 12月 31日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	56	(回答者数)	39
○従業者評価実施期間	2026年 1月 14日 ~ 2026年 1月 31日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	21	(回答者数)	21
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 2日			

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	限られたスペースでの遊び方の工夫がされている。	児発と放デイの部屋が分かれているため、放デイの子どもたちが出かけてる間に児発の子どもたちがそこで運動を行う等、スペースの使い方を工夫している。	勉強するコーナー、遊ぶコーナーを分ける方法を検討。1フロアで療育を行っている為、活動によってのスペース分けに関しては常に考えて行く。パーテーションの利用。時間によっては使用していない部屋があるためその部屋の有効活用。（心理検査・個別課題・クールダウン等）
2	外部への研修参加や資格取得への意欲が高い	行政や区からの研修の案内は、研修担当の係が都度全体に周知して申し込みを一括で行っている。 資格取得に関しては会社が全額・一部補助。	個々の職員の専門性を生かした研修の受講を推進する。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	シフト制のため情報の周知が難しい場面がある。	翌日に前日の申し送りをしているものの、自分が公休日の事業所の動きを把握するために全体ラインを気にする必要があり、個々の裁量にゆだねてしまっている。	休み明けの朝に、休んでいた分の共有事項を確認する癖をつける。
2	施設の設備について トイレの数が足りないと感じている意見が多数	従業員と利用児、平均30人程でトイレが2個。開所当初は問題なかったことが、利用者が増えることで問題になってきている。	トイレを増やすという選択以外で、時間をこちらで誘導しある程度は分散出来る。自分たちで余裕をもって行動するように指導している。
3	職員がもう少しほしい感じる場面がある。	配置的には平均して子ども2人に対して職員が1人という手厚さを維持しているが、送迎が集中する時間に手薄になってしまうタイミングがある。	送迎専門の職員を雇うのはどうか。 帰りの送迎に関しては申し送りをしっかり行う必要があるため現行通り正規の職員が行う。